

ラッキーガールの19

メス 2019年3月23日生 | 栗毛 | 道営・佐々木国明厩舎 | 門別山際牧場生産



一口価格：6,600円 ※地方募集馬は競走馬保険の加入はありません 募集口数：1000口【競走馬出資金総額 660万円】



● 調教師コメント (道営・佐々木国明調教師)

1歳の11月初旬に競馬場に移動してきて、初期馴致から開始しました。道具を付けたところから2週間ほど時間を掛けて完了し、12月からは坂路に入れ始めています。年内はそこまでペースを上げられなかったのですが、2月くらいに15-15を開始するイメージで進めています。筋肉量がしっかりある馬体をしていて、それでいて柔らかさが感じられるのがいいですね。スピード、瞬発力も垣間見られます。早い時期の2歳戦は短い距離から競馬をしていくこととなりますが、ゲートからスピードを生かした競馬ができるのではないかと思います。トラブルなく力をつけていけば、JRAのレースに参戦することも視野に入ってくるかもしれません。

● 治郎丸敬之の馬体診断

スズカコースウェイとはずいぶん渋いところを突いてきたなと最初思いましたが、道営所属という話を聞いて納得です。スズカコースラインやバンドオンザランなど、ダートの短距離における活躍馬が出ているように、現役時代のイメージとは少し違って、種牡馬としてのスズカコースウェイは今のところダート馬の父なのです。血統的にはともかく、馬体だけを見ると、決してダート種牡馬というわけではありません。さすが中央競馬の芝のレースで活躍していただけあって、手脚が軽く、首を水平に上手に使って柔らかく歩けています。たとえばトウザワールドなどと同じで、産駒は地方所属の馬が多いため、ダートを走る機会が多いから実績も出るということなのでしょう。走る能力が高いためダートでも走っているように見えますが、芝も走るタイプが出るかもしれませんね。ラッキーガールの19の馬体を見ると、ふっくらと筋肉がついて好感が持てます。まだ粗削りな面はありますが、これから育成が進んでいくにつれ、メリハリも出てくるのではないのでしょうか。脚元には不安がなさそうなので、比較的早い時期からコツコツと走ってくれるのではないのでしょうか。芝のレースにも挑戦なんていう夢が見られると良いですね。